

令和6年度 地域連携推進会議 会議録

1. 日 時 令和6年10月22日（火）9：00～10：30

2. 場 所 障がい者支援施設 緑風園

3. 出席者

- ・新発田市社会福祉課 係長
- ・新発田市社会福祉協議会 主事
- ・五十公野地区区長会 会長
- ・緑風園保護者会 会長
- ・緑風園入所利用者 4名
- ・緑風園 園長
- ・緑風園 支援課長
- ・緑風園 主任 2名
- ・緑風園 サービス管理責任者 1名
- ・緑風園 生活支援員 1名

4. 会議次第

- 1 開会
- 2 障害理解の促進
 - （1）障がい者支援施設 緑風園について
 - （2）知的障がい等について
- 3 施設見学
- 4 サービスの透明性・質の確保
 - （1）ご利用者の日常生活の様子について
 - （2）意思決定支援について
 - （3）感染症の対策について
 - （4）災害への対策について
- 5 ご利用者の権利擁護
 - （1）虐待防止と権利擁護の取り組み
 - （2）事故・ヒヤリハットの報告
 - （3）ご利用者に対する満足度調査の実施
 - （4）職員について
- 6 意見交換・質疑
- 7 閉会

5. 会議内容

- 1 開会 （開会挨拶：緑風園 園長）
- 2 障害理解の促進
 - （1）障がい者支援施設 緑風園について
 - （2）知的障がい等について

3 施設見学

4 サービスの透明性・質の確保

- (1) ご利用者の日常生活の様子について
- (2) 意思決定支援について
- (3) 感染症の対策について
- (4) 災害への対策について

5 ご利用者の権利擁護

- (1) 虐待防止と権利擁護の取り組み
- (2) 事故・ヒヤリハットの報告
- (3) ご利用者に対する満足度調査の実施
- (4) 職員について

6 意見交換・質疑

- (五十公野地区区長会 会長) 神楽舞などで地域との交流があると聞いたが、今後もそのような関わりが増えていけると良いと思う。五十公野地区の皆さんにも障がいについての理解をしてほしいが、なかなか難しいこともあると思う。区長会からも理解に向けて、働きかけて突破口を開いていきたいと思う。
- (保護者会長) 様々な障がいを抱えている方が利用しているのは知っていたが、実際に過ごしている様子を見て、個々の特性について理解することができた。今回の会議で、障がいについて勉強させてもらいました。保護者会でも、勉強する機会を設けていきたいと思いました。
- (新発田市社会福祉課係長) 定期的に研修をして、職員を初心に戻していくという取り組みは素晴らしいなと感じました。

Q. 選挙について、利用者はどうしているのか。

A. (緑風園主任) 事前に周知してご利用者の意思を確認している。選挙に行きたいご利用者については、期日前投票へ行っている。

Q. 人材育成のために研修などは行っているのか。

A. (緑風園主任) 法人全体で階層別研修を行っている。また、緑風園では目標管理制度を用いて、各職員が目標を立て、先輩職員や上司から評価をして頂く取り組みを行っている。月に1回、法定研修などの内部研修を行っている。また、各職員に最低でも年に1回、新潟県社会福祉協議会などが主催の外部研修に参加していただいている。

- (新発田市社会福祉協議会主事) 入所、通所、短期入所とすべてのサービスに対応するのは大変だと思います。また、新規利用者の受け入れにも困難があると思いますが、利用したいと思っていただける努力がすごいと感じました。職員の皆さんも利用者に対して臨機応変に対応していて素晴らしいと思いました。

7 閉会 (閉会挨拶: 緑風園 園長)